

第1部 公共施設等のあり方について

はじめに 公共施設の更新問題をご存知でしょうか？

- 我が国において、公共施設の多くは、都市化の進展や経済成長とともに集中的に整備されてきました。
- 近い将来、これらの公共施設を一斉に更新する時期がきます。
- そして、これに合わせるように高齢化と人口減少が進んで財政状況が悪化し、現状のままでは、必要性の高い公共施設まで良好な状態で保てなくなる恐れがあります。
- これが、公共施設の更新問題です。

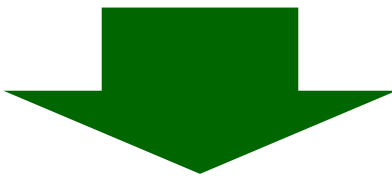
はじめに うるま市の公共施設等の現状を知っていますか？

- 市内にはどのような公共施設がどのくらいあるのかご存知でしょうか？
- そして、公共施設がどのくらい利用されていて、施設を維持していくためにはどのくらいの費用を要しているのでしょうか？
- 今後も今ある公共施設は、ずっと使えるのでしょうか？

意見交換会の目的

うるま市では、

- 市町村合併により、同じ機能の施設の重複が見られます。
- 少子高齢化の影響から将来の税収の見通しは非常に厳しく、さらには高齢者や子どもたちに必要な支出の増加が見込まれます。



そのため、

- 公共施設等の将来のあり方を考えていく必要があるとの考えで検討を進めています。

意見交換会の目的

平成24年度は、

- 公共施設等の実態を把握するため、施設の設置状況や利用状況等を『うるま市公共施設等白書』としてまとめました。

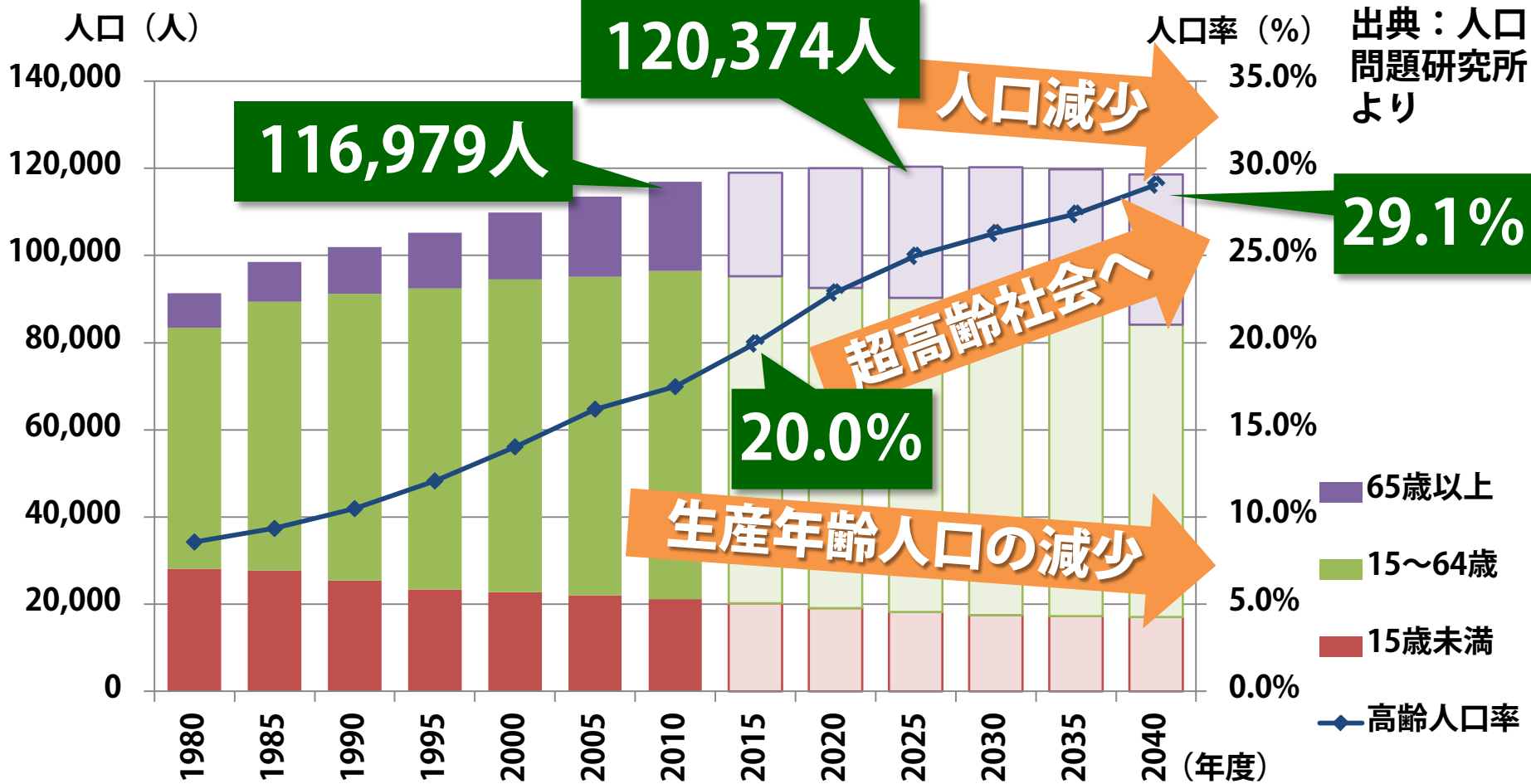
平成25年度は、

- 公共施設等の実態を踏まえ、うるま市が目指すべき『公共施設等のあり方』を定めます。

本日の意見交換会は、

- 『公共施設等のあり方』を検討するにあたり、市民の皆さまのご意見をお伺いする場です。

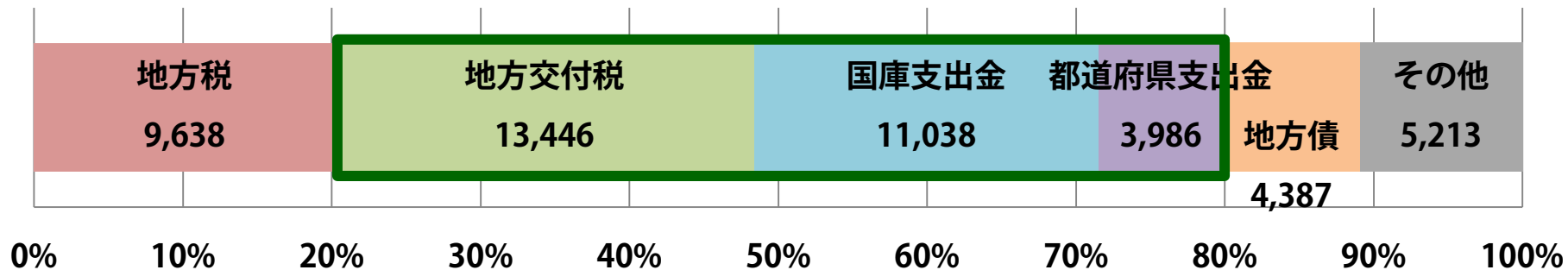
うるま市では…①人口減少の到来と高齢化社会の進行



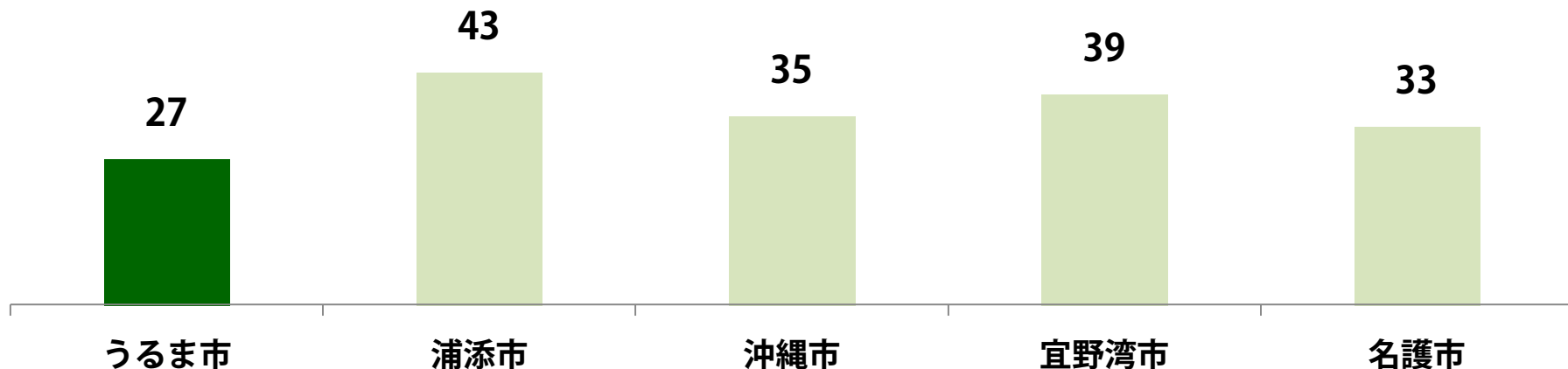
- 人口は、2025年度をピークに減少
- 2015年度から超高齢社会へ（扶助費の増加）
- 生産年齢人口の減少（税収の落ち込み）

うるま市では…②歳入の状況

平成23年度における歳入(約447億円)の内訳

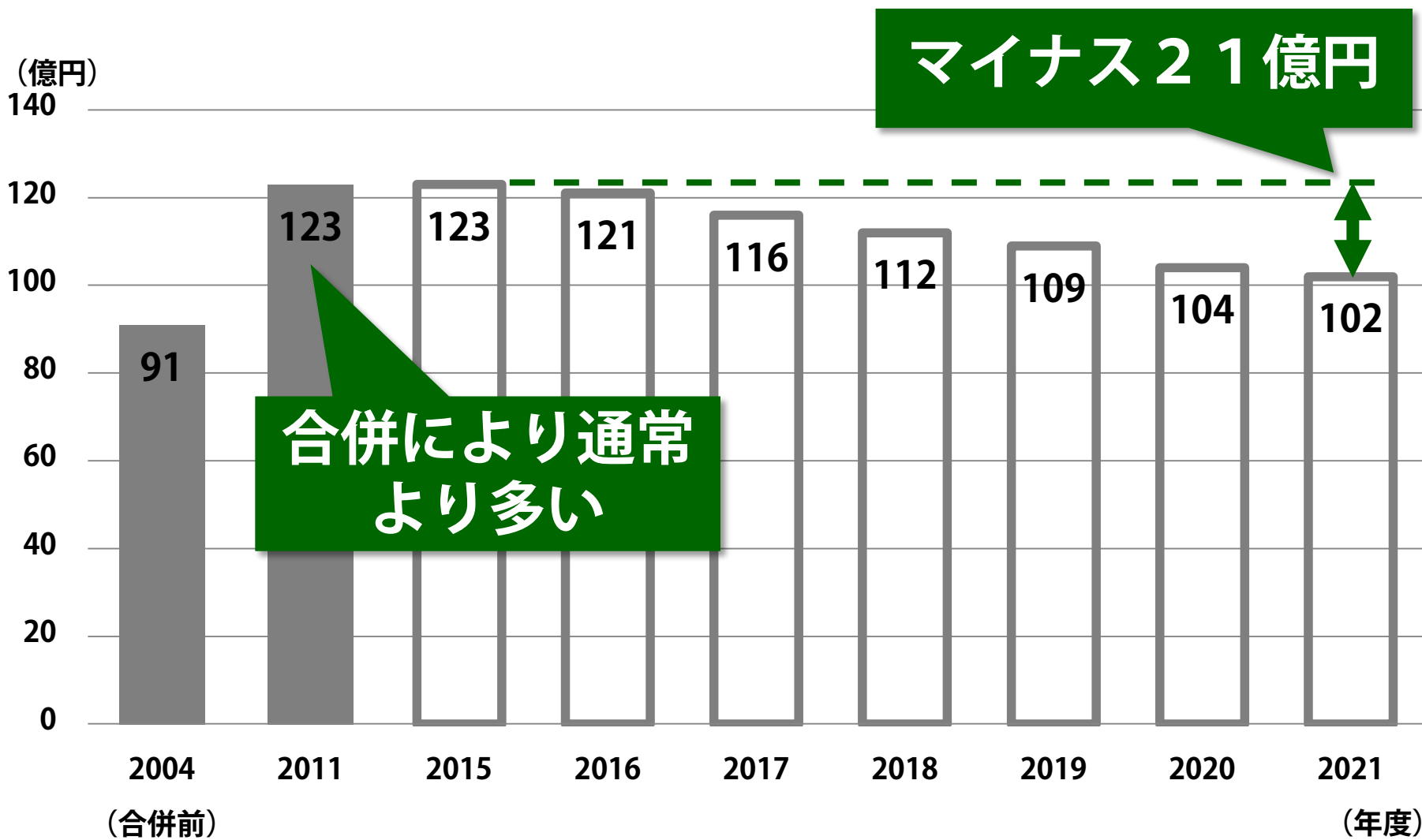


自主財源比率（地方公共団体が自主的に収入できる財源）の比較



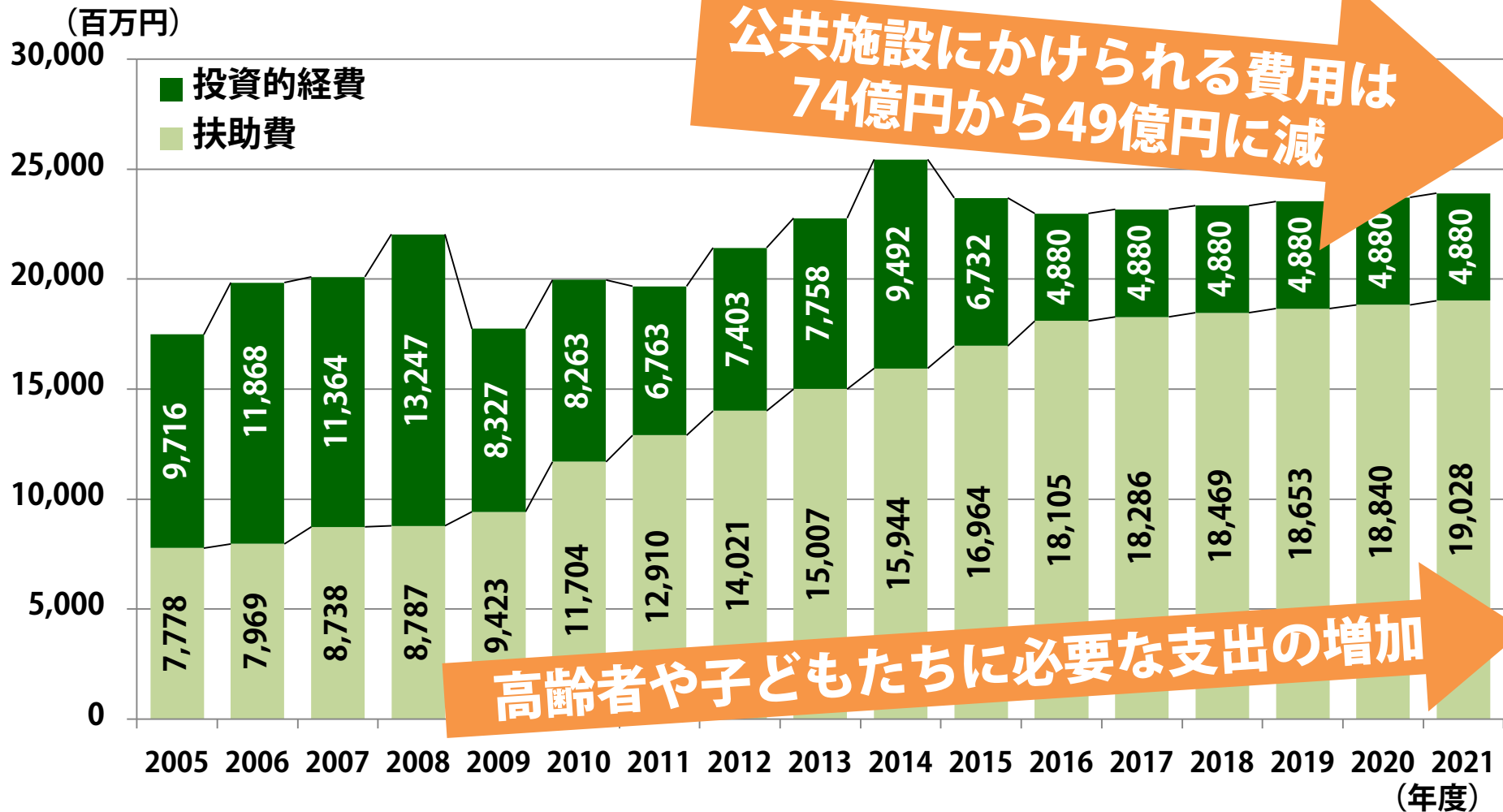
- 国・県からの収入に大きく依存
- 自主財源比率は県内の他市と比較して低い

うるま市では…③普通交付税（財源不足を補うもの）の推移



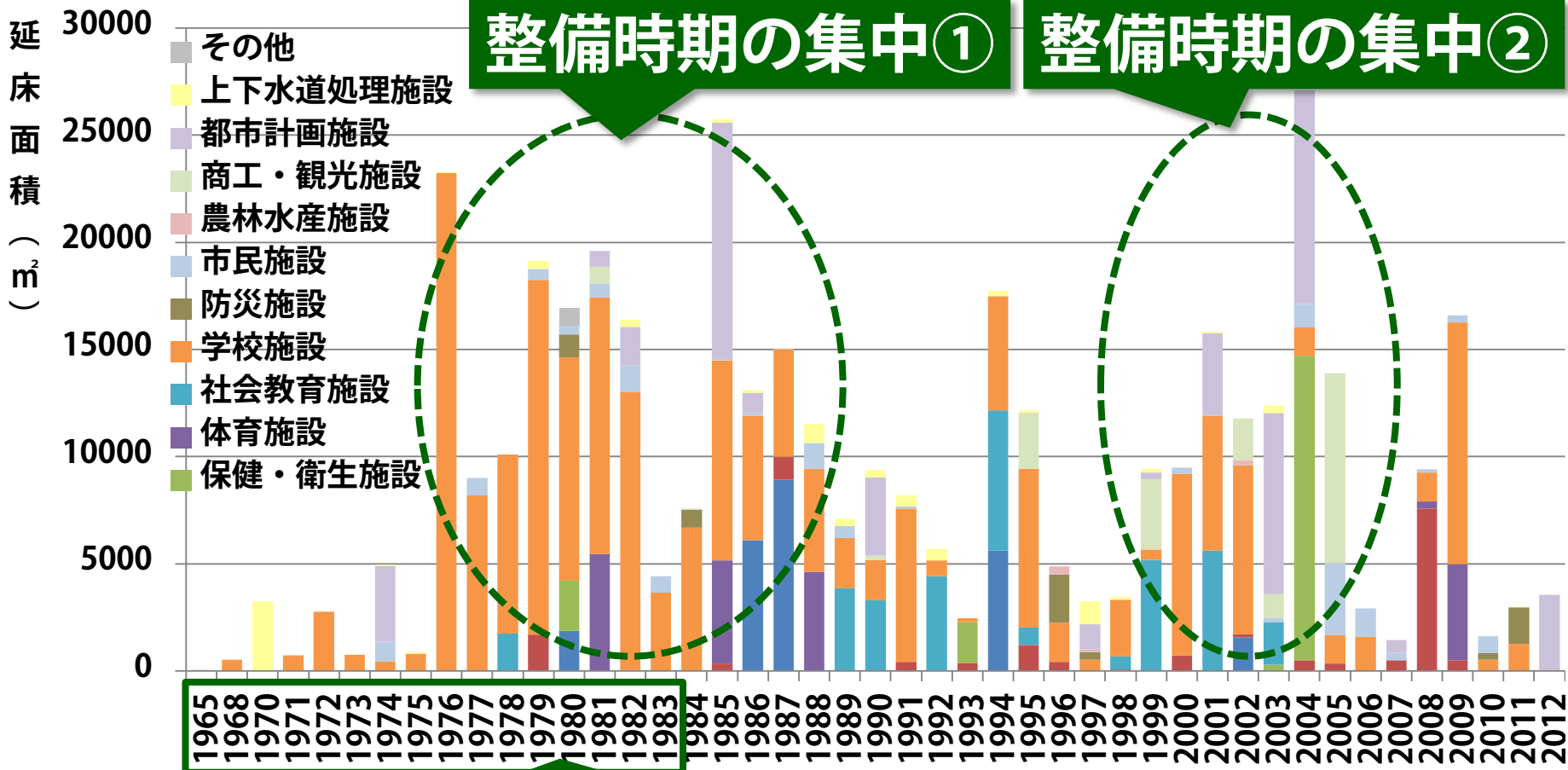
●普通交付税が10年後には約21億円減少

うるま市では…④扶助費と投資的経費の推移



- 投資的経費（道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費）は減る

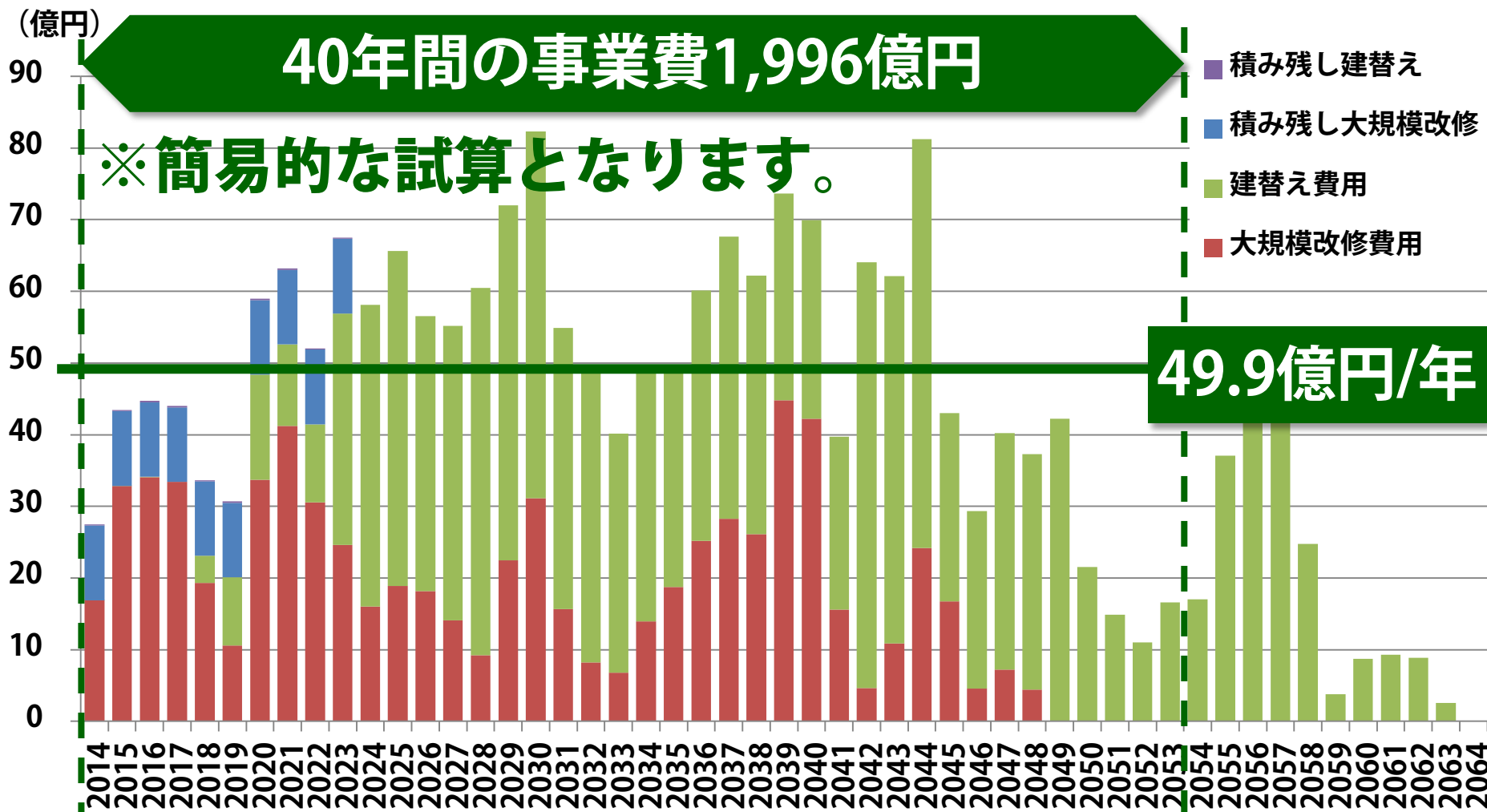
うるま市では…⑤公共施設等の築年別整備状況



築後30年以上(31.8%)

- 築後30年以上の老朽化施設は約3割
- 整備の山が2つ、今後、更新の波が2回

うるま市では…⑥今ある施設を維持するために必要な費用



- 試算によると、今ある施設を維持していくためには、40年間で1,996億円、年間約50億円が必要

普通交付税が21億円減ります。
投資的経費も減ります。

そんな中、
今ある施設を維持するために必要な
50億円/年はどこから？

今ある公共サービスを守るためには、公共施設
等の最適な管理運営が必要となります。

公共施設等白書を作成しました

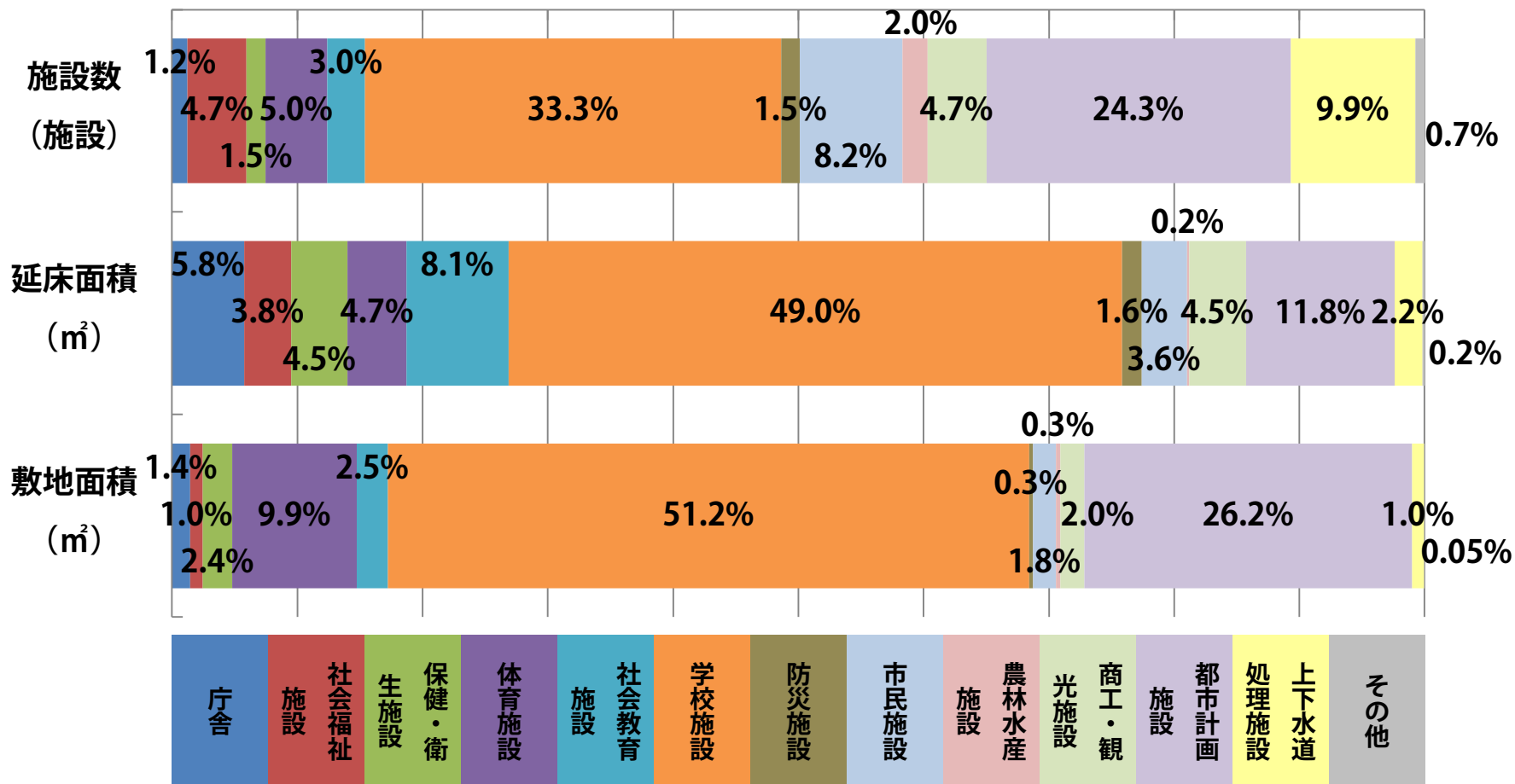


- 全ての公共施設等について、その設置状況や利用状況などの実態を把握してまとめたもの
- 332施設を対象
- 公共施設等を量（ストック）、経費（コスト）、利用状況（サービス）の三つの視点でとらえ、将来のあり方を考えるための基礎資料

※市ホームページや図書館、公民館で閲覧できます。

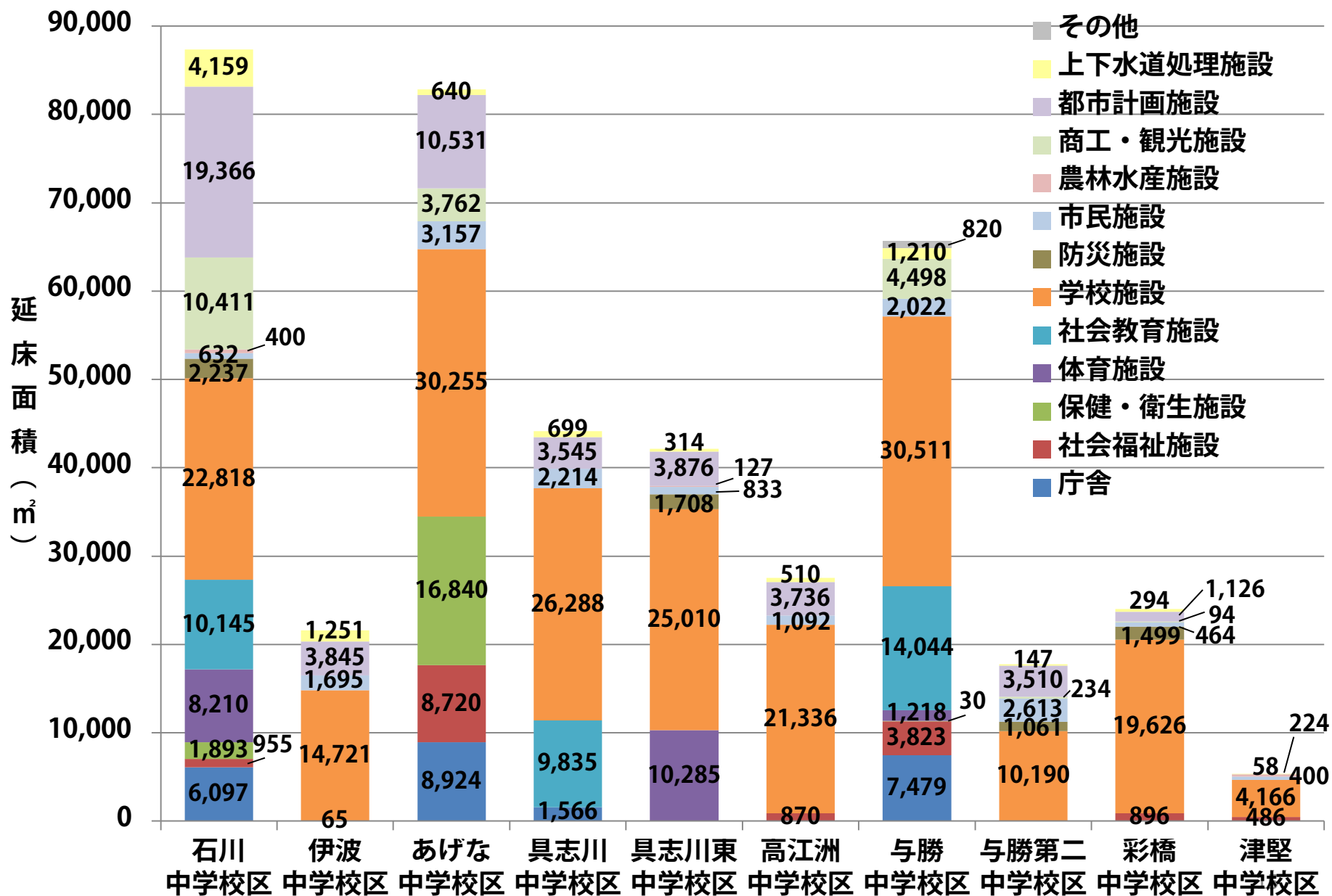
公共施設等白書の概要①施設分類別割合

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

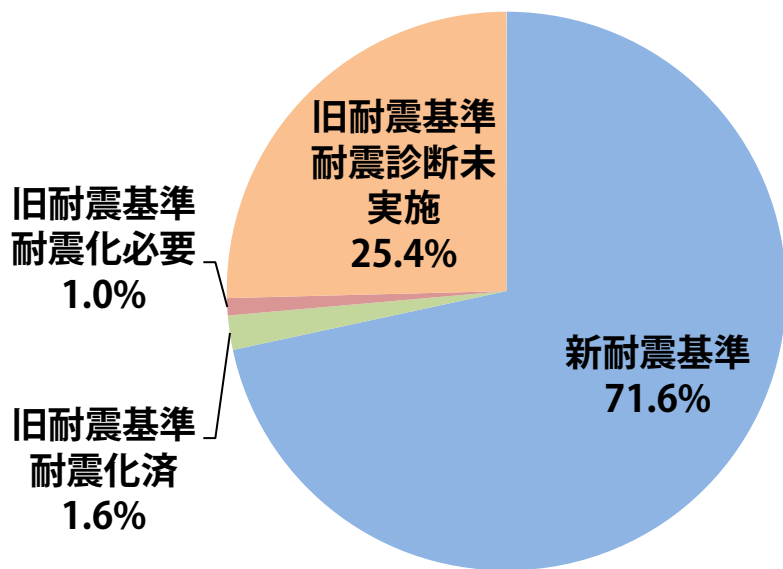


● 学校教育施設が約半分(土地の約51%、建物の49%)

公共施設等白書の概要②地区別の公共施設等配置状況

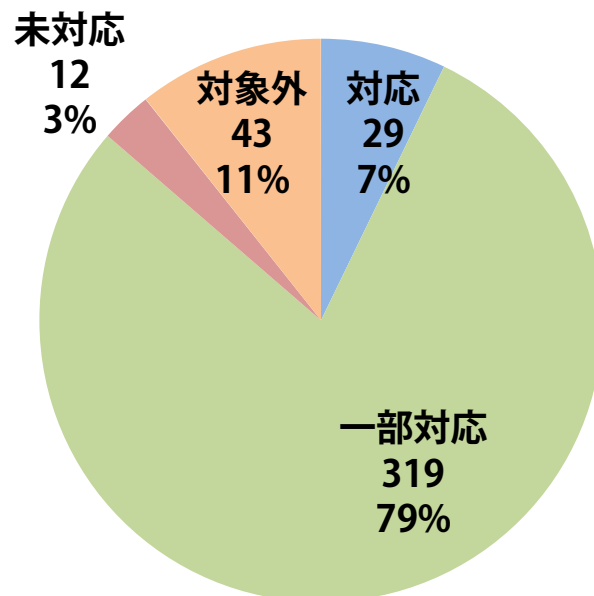


耐震診断・耐震補強 の実施状況



- 新耐震基準の建物は約7割、旧耐震基準の建物のうち耐震化が図られているのは僅か

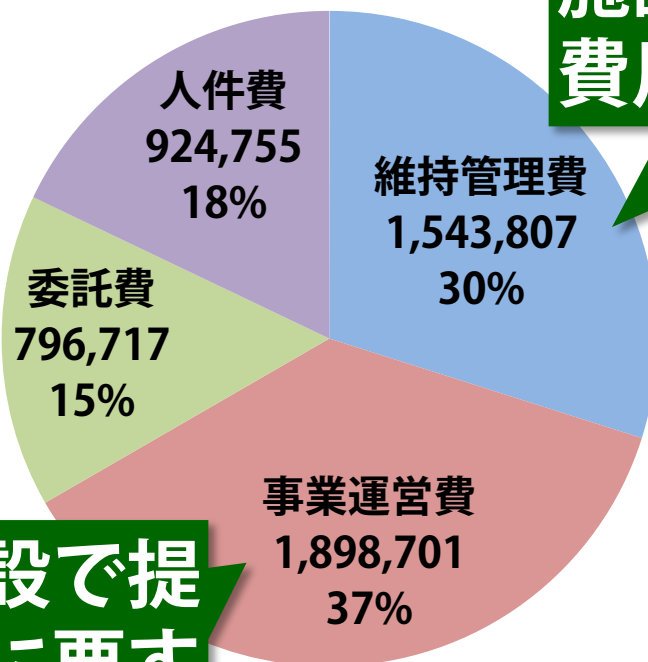
バリアフリー化 の状況



- 出入口、階段、エレベーターなど、一部でもバリアフリーに対応している施設は約8割

公共施設等白書の概要④

施設全体に要する費用（千円）



光熱水費や保守など
施設の管理に要する
費用：約15億円

窓口業務など施設で提
供するサービスに要す
る費用：約19億円

- 事業運営費、維持管理費の占める割合が大きい

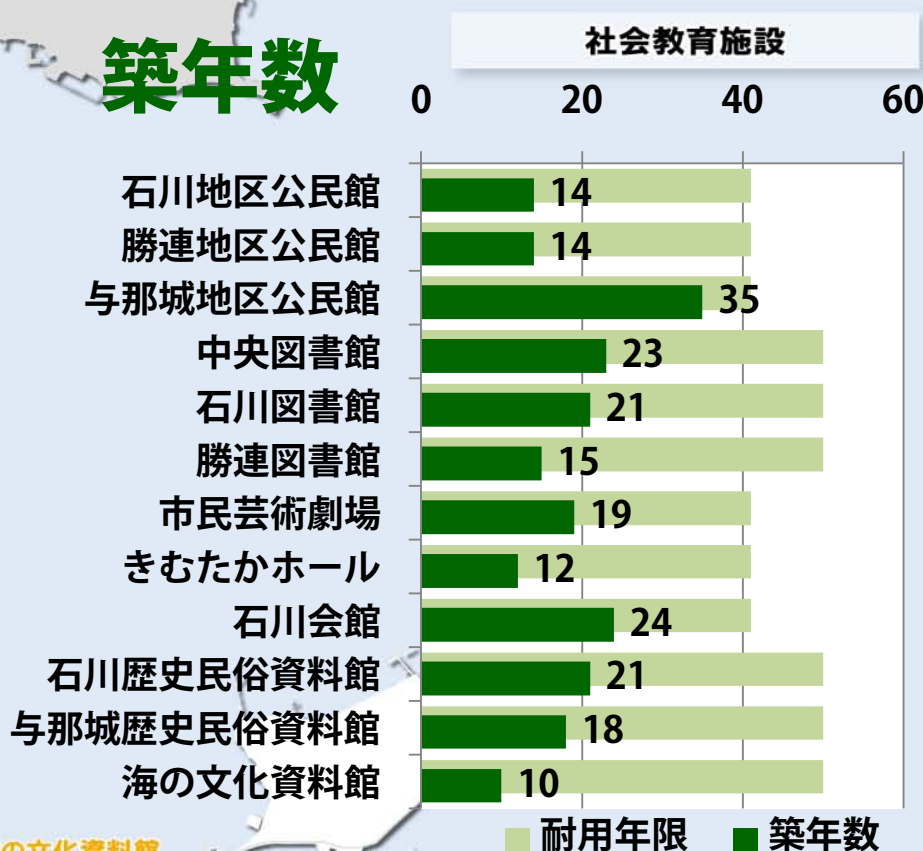
公共施設等白書の概要⑤施設分類別の状況（社会教育施設）

社会教育施設を例に概要を説明します。

配置状況



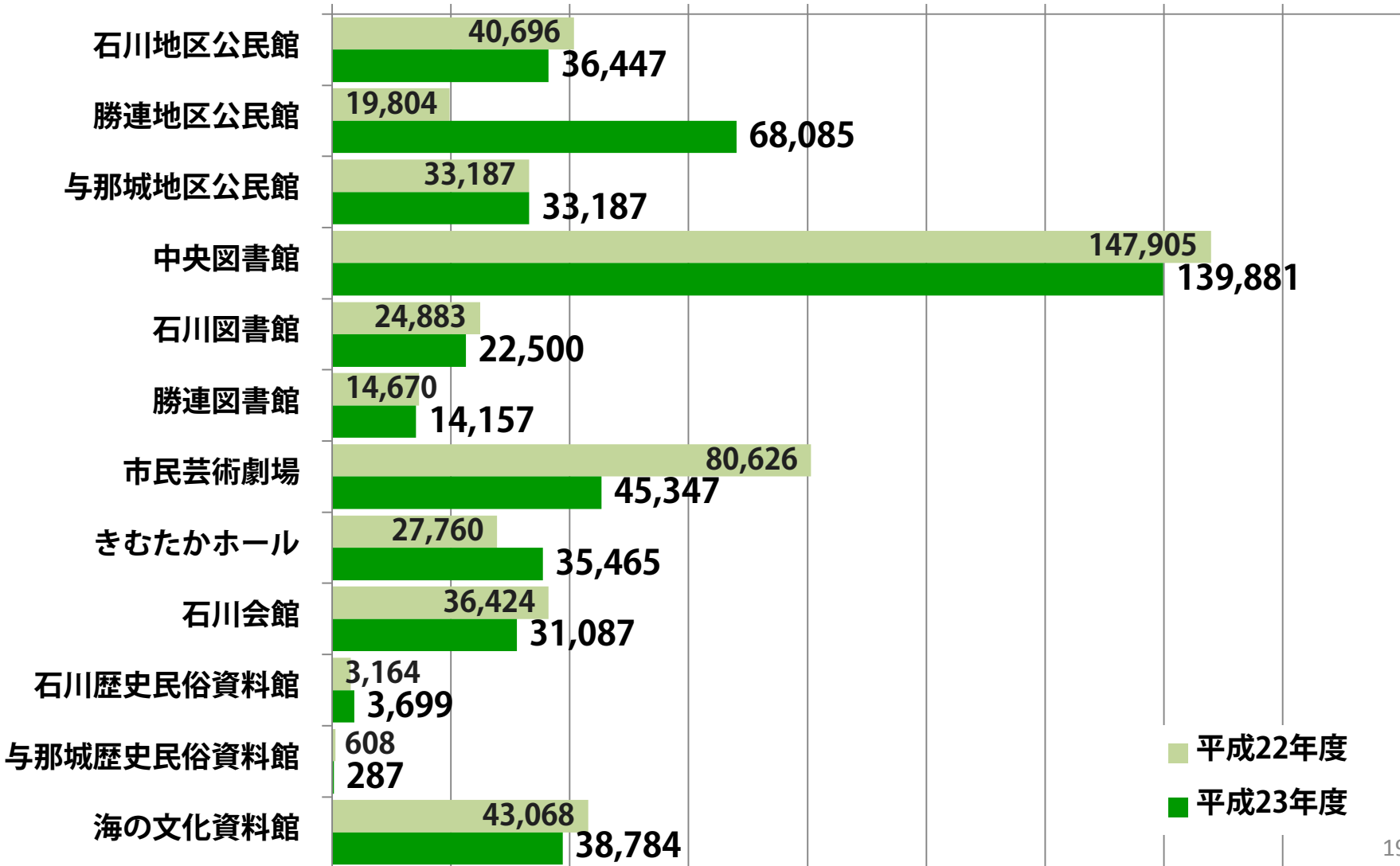
築年数



公共施設等白書の概要⑤施設分類別の状況（社会教育施設）

年間利用者数の推移（人）

0 20,000 40,000 60,000 80,000 100,000 120,000 140,000 160,000 180,000

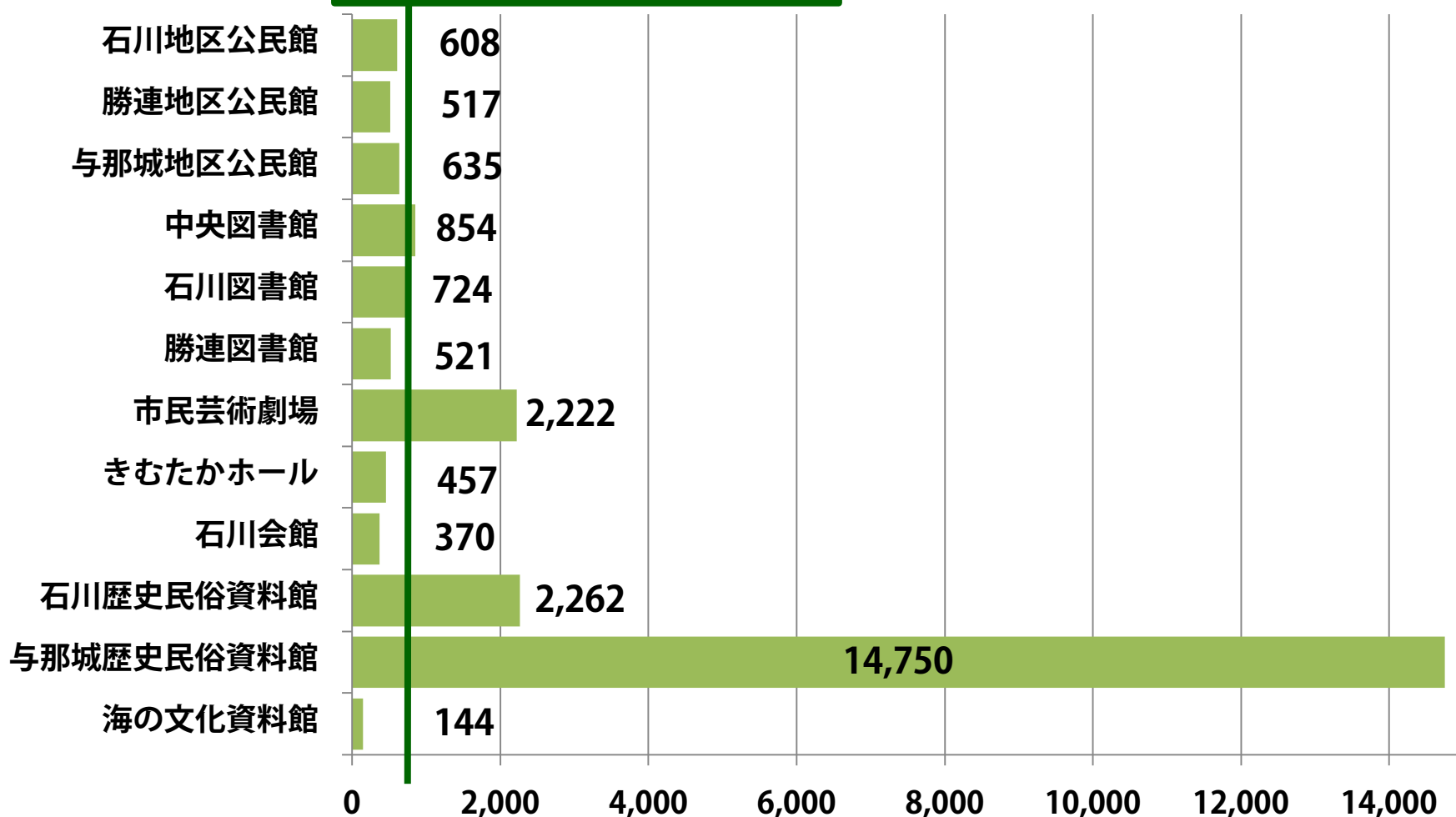


■ 平成22年度
■ 平成23年度

公共施設等白書の概要⑤施設分類別の状況（社会教育施設）

平成23年度の利用者一人当たりの年間管理運営費（円/人）

平均値785円/人



公共施設等の最適な管理運営に向けた計画をつくります！

うるま市公共施設等マネジメント計画の構成案

1 公共施設等

マネジメント計画とは

- (1) 背景と目的
- (2) 計画の役割
- (3) 計画期間

2 公共施設等の現状と課題

- (1) 量（ストック）
- (2) 経費（コスト）
- (3) 配置（サービス）

3 公共施設等マネジメント方針

- (1) 基本的な考え方
- (2) 基本方針
- (3) 再編の方向性を判断する基準

4 種別毎の将来計画

- (1) 社会福祉施設
- (2) 保健・衛生施設
- (3) 体育施設
- (4) 社会教育施設
- (5) 学校施設
- (6) 防災施設
- (7) 市民施設
- (8) 農林水産施設
- (9) 商工・観光施設
- (10) 都市計画施設
- (11) 上下水道処理施設
- (12) その他施設

5 庁舎跡利用計画

- (1) 石川庁舎
- (2) 与那城庁舎
- (3) 勝連庁舎

6 マネジメントの体制と手順

- (1) 推進体制
- (2) 手順

平成25年度の進め方（スケジュール）

公共施設等のあり方

庁舎跡利用について

6月

跡利用アンケート

6月～7月

地区意見交換会

7月～8月

ワークショップ

うるま市公共施設等マネジメント計画の検討

基本方針・基本計画

庁舎跡利用計画

10月

説明会・パブコメ

地域意見交換会を実施しました

実施概要

- 地域における公共施設等に関する現状や今後についての意見交換を目的として、中学校区単位で開催

参加者

- 自治会長の皆さま

石川地区



日程

- 4月15日～26日



地域意見交換会を実施しました 具志川地区



勝連・与那城地区



主なご意見を紹介します。

- 多少遠くても目的があれば行くような施設（資料館や体育施設など）は集約しても良い
- 市民の活動の場や健康維持のために利用する施設（市民施設や福祉施設）は各地区に配置
- 公民館＋幼稚園、児童館＋福祉施設などの機能の統合
- 公共施設を一括で管理することが良い
- 新しいものをつくるのではなく、既存のものを充実させる

地域意見交換会での主なご意見②石川地区について

- 市民活動の場、特に高齢者が活動できる場は、身近にある(歩いて行ける)ことが望ましく、各地域に配置
- 子どもたちが集まれる(遊べる)場として、公民館の活用も考えられるが、子どもの指導、管理面が課題
- 「高齢者の活動の場」と「子どもの遊び場」が一緒になった複合的な利用

地域意見交換会での主なご意見②石川地区について

- 図書館は、遠くまで行かなくても利用できるよう、各地域に配置されている点を活かす
- 施設の管理運営については、指定管理者制度(公の施設の管理を民間事業者に委ねることができる制度)の活用によるサービスの向上

地域意見交換会での主なご意見②具志川地区について

- 交流の場（子どもたちが遊べる場や高齢者が集まれる場など）や行政サービス窓口は、公民館の活用などにより、各地域に配置
- 既存施設の活用や機能の統合による多目的な利用（学校グラウンドの活用、公民館＋児童館、公園＋防災機能）
- 遊休化している民間施設の有効活用

地域意見交換会での主なご意見②具志川地区について

- 利用面や管理面から、施設の隣接配置や機能の複合化が望ましい
- 人口規模や利用者一人当たりの年間管理運営経費を勘案した施設の配置（再編）

地域意見交換会での主なご意見②勝連・与那城地区について

- 高齢者が活動できる場や防災施設は、各地域に配置
- 特定の地域に施設を集中させるのではなく、地域で機能を分担（○○機能は北側、□□機能は南側など）
- 集客性の高い施設や若い世代の増加に資する施設（市営住宅等）の配置
- 機能の複合化（公民館＋行政サービス、幼稚園＋保育園）

地域意見交換会での主なご意見②勝連・与那城地区について

- 廃校となった学校は、子どもから高齢者までが活動できる地域コミュニティの場として活用（児童館＋老人福祉施設＋公民館＋公園）
- 類似施設はひとつにまとめて機能を充実（グラウンド、給食センター、地区公民館は与勝地区としてそれぞれ1つ）
- 利用状況などの数字だけでなく、地域の実状や必要性を考慮した将来のあり方

※ご意見は、市ホームページで閲覧できます。

ご意見をお聞かせ下さい

**次の世代に負担を残さないために、
そして、
公共施設等の最大限の有効活用と
市民の利便性の向上に向けて、**

**将来における公共施設等のあり方
(うるま市が目指すべき方向)
を検討するにあたり、市民の皆さま
のご意見をお聞かせ下さい。**

第2部 庁舎跡利用について

はじめに 分庁方式から統合庁舎方式へ

これまで

平成17年4月の合併以来、旧市町の庁舎を活用し、分庁方式で事務事業を行ってきました。



いま

市民の利便性をはじめとする行政サービスの向上を図る必要性から、平成23年3月に「うるま市統合庁舎基本構想」を策定し、統合庁舎建設を進めています。

意見交換会の目的

第1部でのご説明のとおり、

- 同じ機能の施設の重複や将来の財政見通しから、公共施設等の将来のあり方を考えていく必要があります。

庁舎の機能についても、

- 併せて、最大限の有効活用と市民の利便性の向上に向けて検討します。

本日の意見交換会は、

- 『庁舎の有効活用の方法』を検討するにあたり、市民の皆さまのご意見をお伺いする場です。

実施中の取組みと今後の取組み

市民アンケート

- 市民の皆さまが、どのようなご意見、ご要望をお持ちなのかを把握するため、市内在住の18歳以上の方、2000人を対象に実施中（6月30日まで）

ワークショップ

- 有効活用の方向性（どのような使い方が望ましいのか）及び、必要な機能について、市民の立場からの検討を予定（7月～8月）

石川庁舎について①周辺の現状



建築年：昭和61(1986)年

建物規模：地上3階、地下1階

建物構造：鉄筋コンクリート造

耐用年限：50年（残り23年）



- 石川ICに近く、交通の利便性が高い
- 運動公園や文化施設が立地
- 国道329号沿いに旧市街地が形成
- 新旧の店舗が立ち並ぶ

石川庁舎について②地域意見交換会での主なご意見

子どもと高齢者の場

● 江東区児童・高齢者総合施設『グランチャ東雲』



- 高齢者の「健康づくり」「生きがいづくり」、子どもたちの「健やかな成長」を担う施設
- 高齢者と子どもが世代を越えて交流できる場
- 1・2階は、認定こども園
- 地上7階建てで、3階から7階が「児童・高齢者総合施設」

※事例はご意見を表すイメージです。

石川庁舎について②地域意見交換会での主なご意見

子どもと高齢者の場

- 江東区児童・高齢者総合施設『グランチャ東雲』



※事例はご意見を表すイメージです。

石川庁舎について③地域意見交換会での主なご意見

市民が集まれる場

● 藤沢商工会館ミナパーク(2014年3月完成予定)



※事例はご意見を表すイメージです。

石川庁舎について④地域意見交換会での主なご意見

アクセスを活かした商業施設

- 大井町金子複合商業施設
『ミマスモール』



※事例はご意見を表すイメージです。

石川庁舎について⑤地域意見交換会での主なご意見

民間企業による活用

- 新潟県南魚沼市
議場をコールセンターに再活用



- 市町村合併に伴い“空き家”となった市町村議会の議場を再活用
- 100人の雇用創出にもつながる

※事例はご意見を表すイメージです。

勝連庁舎について①周辺の現状



建築年：昭和55(1980)年

建物規模：地上3階

建物構造：鉄筋コンクリート造

耐用年限：50年（残り17年）



- 高速から遠く、県道10号線がメインのアクセスルート
- 運動公園や文化施設、学校が立地
- 勝連城跡が近くにある

勝連庁舎について②地域意見交換会での主なご意見

地域資源（勝連城跡）を活かした施設

● 青森市森林博物館



- 旧庁舎を転用して設置
- 自然を学び、昔の生活を知る場



※事例はご意見を表すイメージです。

与那城庁舎について①周辺の現状



建築年：平成6(1994)年

建物規模：地上4階

建物構造：鉄筋コンクリート造

耐用年限：50年（残り31年）



- 高速から遠い
- 運動公園、文化施設、学校などが立地
- 島嶼地域への海中道路があることから、島嶼地域へのアクセスが良い

与那城庁舎について②地域意見交換会での主なご意見

ロケーションを活かしたリゾート・観光施設

● 青森県深浦町リゾート宿泊施設 ウェスパ椿山



- 別荘感覚で利用できる宿泊施設
- 地元の名産品を味わえるレストラン
- 体験ガラス工房
- 海を見渡せる展望台

※事例はご意見を表すイメージです。

与那城庁舎について②地域意見交換会での主なご意見

市民が集まれる場

●文化施設『大田文化の森』



- ホール、図書コーナー、マルチメディアコーナーをはじめ、集会室、創作工房、音楽スタジオ、スポーツスタジオなど、区民の多彩な文化活動に利用できる施設として活用
- 運営に公募の区民が参加

※事例はご意見を表すイメージです。

その他①地域意見交換会での主なご意見

公営住宅・商業の一体的施設

● 『権太坂スクエア』



● 住宅棟の内容

- 借上型市営住宅
- 高齢者向け優良賃貸住宅
- コミュニティハウス
- 医院

● 商業棟

- スーパーマーケット
- 家電量販店
- ドラッグストア

※事例はご意見を表すイメージです。

その他②地域意見交換会での主なご意見

コミュニティの場

● 『虹ヶ丘小学校コミュニティールーム』



- 小学校3教室分を改造して開設したコミュニティ施設
- 地域住民で管理・運営
- 赤ちゃんから年配の人たちまで集える施設
- 団体利用の会議室は、サークル活動や会議、会食などで使用

※事例はご意見を表すイメージです。

ご意見をお聞かせ下さい

**市民の貴重な財産である庁舎の
効果的な有効活用に向けて、**

**旧庁舎の機能を検討するにあたり、
市民の皆さまのご意見を
お聞かせ下さい。**